



# 検査のとびら

作成 2023年4月 検査室



発行 検査室・医療安全管理室

## 尿一般検査（1）



### ・尿はどうやってできるの？

腎臓の糸球体で血液がろ過されて身体に必要な成分や水の多くは再吸収されます。不要な成分は分泌され原尿の約1%まで濃縮されて尿として排泄されています。（右図参照）

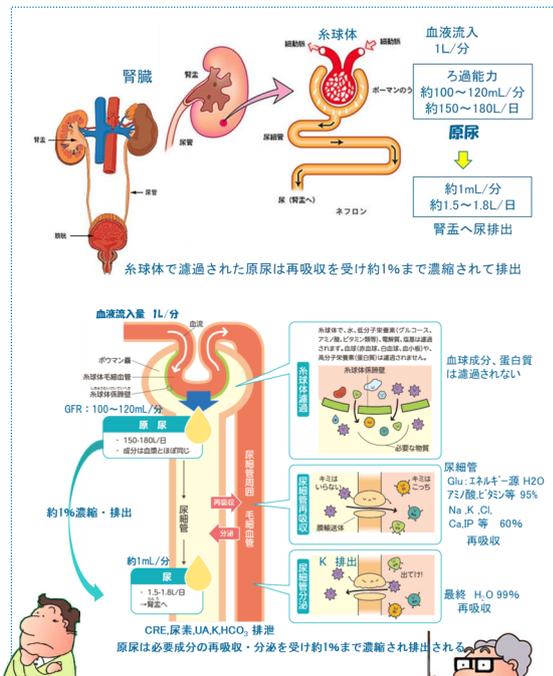
### ・尿一般検査は何を調べているのかな？

試験紙を用いて糖や蛋白質の有無を知らせています。また、顕微鏡で尿中の細胞や結晶、細菌の有無を調べています。

### ・どんな病気がわかるの？

尿に直接関わる腎臓病、膀胱・尿管・尿道系の病気、そのほか糖尿病、肝臓疾患、ストレス、妊娠などがわかります。

・尿一般検査の項目ではこんなことがわかります。



試験紙と検査項目



検査項目  
 白血球  
 亜硝酸塩  
 加ビ リーゲン  
 たんぱく質  
 pH  
 潜血  
 比重  
 ケトン体  
 ビリルビン  
 ブドウ糖

### 蛋白質

糸球体からアルブミンなどの蛋白が漏れていないかを調べます。腎盂腎炎、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群など腎臓の障害や膀胱炎、尿道炎など尿路系の炎症時には陽性となります。発熱時にも異常となること有ます。

### 糖（ブドウ糖）

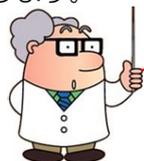
尿糖（+）なら糖尿病を疑います。血糖値が170mg/dL以上で再吸収が追いつかないほど高血糖である事を示します。重症例では甘いにおいが出ることがあります。

### ケトン体

摂食不足状態で体内の脂肪組織の代謝によって作られる物質。下痢、嘔吐等の消化吸収トラブル、糖尿病のコントロール不良時、発熱時、摂食障害や自家中毒などで陽性となります。

### 潜血

尿中に血液が混じっていないか調べます。陽性的場合、腎炎、腎結石などの腎臓病や尿管結石など尿管の病気での出血、尿道炎や前立腺炎など尿道の病気による出血が疑われます。激しい運動によっても陽性となることがあります。



尿の色・混濁については、次回に！

Point!

尿は健康のバロメーターとなります。尿の色や混濁、におい、尿量、トイレの回数だけでもいろいろわかりますよ！。

### 色、混濁

血の混じったような赤や褐色や混濁がある場合、血液、細菌、結晶等が混じっている可能性があります

### におい

尿が甘酸っぱいにおいの場合、糖尿病の可能性あります。

### 尿量

尿量が極端に少ない場合、又は多い場合、腎臓や内分泌代謝に何かしらの異常がある可能性があります。

### トイレの回数

トイレの回数が多い場合、膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎、尿路結石などの可能性あります。

問合せ先：検査室 佐藤まで